

令和 6 年度地域福祉専門会議議事要旨

日 時：令和 7 年 2 月 13 日（木）午後 2 時～午後 3 時半

場 所：703・704 会議室

出席者：西口委員（議長）、庄司委員（議長職務代理）、
清田委員、和田委員、谷口委員、江島委員、
藤井委員、柳生委員、富田委員、東委員、原田管理者（雑賀委員代理出席）、
奥井委員、森島委員、古道委員、小野委員
事務局：稲嶺区長、小林副区長、村上保健福祉課長、谷川子育て支援・保育担当課長、
柴田保健福祉課長代理、細見保健福祉課担当係長

議事 1 中央区地域福祉専門会議議長、職務代理者の選出について
議長に西口委員、議長職務代理に庄司委員がそれぞれ就任

議事 2 中央区地域福祉専門会議設置要綱の変更について（資料①）

- ・ 昨年度の専門会議で検討された「公募委員の参画」及び「会議の公開・傍聴」について、追加・変更を行い、令和 6 年 8 月 1 日に改正した。
- ・ 地域住民の参加が図られる組織作りに向け、「公募委員の参画」について、第 1 条、第 2 条を変更した。
- ・ これまで本会議は政策検討段階の議論を行う会議として、非公開扱いの会議としてきたが、市の方針として可能な限り会議のオープン化に努めるため、昨年度の専門会議で了承を得て要綱を改定し本会議を公開することになった。「会議の公開・傍聴」については、第 1 条の変更、第 5 条、第 6 条の追加となる。

議事 3 中央区地域福祉専門会議の構成員について（資料②）

- ・ 令和 6 年 4 月から令和 8 年 3 月末までの任期となる。
- ・ 公募委員の参画として、9 月に公募委員の募集を行い、昨年 11 月より 3 名の委員が新たに加わっている。

議事 4 中央区地域福祉ビジョン 2023～2025 の取組状況について
(資料③－1、③－2、③－3)

- ・ ビジョン策定の 2023 年度からこれまでの 2 年間の取組の報告を行った。
- ・ 特に取組が進んだ事業等について、資料 3－②及び資料 3－③の報告を行った。

議事 5 地域福祉ビジョンの更なる推進に向けた具体的な取組について（資料④）

（グループディスカッション）

- ・ 「ふだんのくらしをしあわせに」を前進させるための取組について、3 グループに分け、意見交換を行った。

（発表された意見）

- ・ 医療と介護をつなぐ協力体制が必要。
- ・ 介護等が必要になってから相談先を探すような状況で、対応が遅れてしまうことが多くある。
- ・ 色んな人がいて、皆それぞれの「幸せ」があり一律ではない。
- ・ 地域の中でもマンション世帯が多い中央区では、横の繋がりが薄い。
- ・ SNS等を活用して、福祉を必要としていないと感じている若者層へのアピールが必要。
- ・ 外国人が多くいる中央区では、住民を身近に感じてもらうことが重要で、お互いが興味を持ってもらう取組をしなければならない。

（総括：小野委員）

- ・ 2025 年を目途として、地域包括ケアシステムが政府から 2000 年代に示され、地域における包括的なケアを中学校圏域で構築することを目標としていたが、達成できているのでしょうか。
- ・ これまでに取組を行っていても周知が響かないということはやり方を変える必要がある。
- ・ 福祉に携わっている者だけではなく、まちで暮らす全ての人に、地域でケアすることが当たり前となる意識にしていくことが重要。
- ・ 中央区の特性として、マンション世帯が9割以上ある中で、マンション世帯への働きかけ方が重要となっている。自治会とは別に管理組合レベルで話し合いも必要となる。
- ・ 福祉と SDGS の違いについて、持続可能な仕組みをめざす SDGS、新たに幸せを生み出すのがこれからの「福祉」である。それらを見分け、見極めたうえで中央区としてどこを目指すのか、考えていきたい。

議事 6 地域福祉ビジョン 2023～2025 の次期改定について（資料⑤）

- ・ 地域福祉ビジョン 2023～2025 が次年度で終了となり、来年度の会議の開催はビジョンの改定に向けた開催となる。
- ・ 地域福祉ビジョンは3か年ごとの計画期間で、中央区の将来ビジョンは2023

～2027 年の 5 か年の計画期間となっている。

- ・ 地域福祉ビジョンは将来ビジョンの各柱の各課題にも関連し、主に柱 3，4 に関する課題や取り組みを記している。将来ビジョンは次の改定年が 2027 となるため、今回の地域福祉ビジョンの改定を 2 か年の時点修正とし、大幅な見直しについては将来ビジョンに合わせることで一体となった取組が期待できると考えている。
- ・ 将来ビジョンと一体的な取組にするため、次の改定では時点修正の 2 か年で改定を行うことについて、ご意見を伺いたい。

(意見)

- ・ 大きな改定は予定していないということか。将来ビジョンに合わせることも必要かと思うが、このまま自立したビジョンとして 3 年間のサイクルを維持しても良いのではないか。

(事務局の回答)

- ・ 事務局として、将来ビジョンとサイクルを合わせることを提案したが、決定ではない。次回の会議で次期ビジョンの改定について議論していきたい。

その他 シンポジウムの開催についての周知

以上